

岡田の生活への影響



新型コロナ特集 第4回 (小中学校行事編)

報 館 おおかだ

みんなが少しずつ
地域の役割を
分担しよう



「コロナ禍でのつばやき(3)
「ウイズコロナ」とか
「アフターコロナ」って耳にしますが…」

私がこどもの頃はドイツ語音のビールス(ウィールス)が汎用されていた。でも、日本ウィルス学会設立の1953年以来、ウィルスが正式名称だった。ウィルスは外国語っぽく響くが、英語のバイラスとドイツ語のビールスの中庸に落ち着いた真正正銘の日本語だ。

政府やどこかの知事は英語(のような響き)がお好きで、新型コロナに四苦八苦の現状を「ウイズコロナ」と言う。なかなかのキャッチフレーズだ。新型コロナの撲滅は不可能だから、「共生・共存以外に道はない」とお考えなのだろうか?でも、アフターコロナやポストコロナもセットで出て来る。

実は、人類は四千万年からウィルスと共存・共生している、と2010年のネイチャー誌に掲載された。遺伝子総体がゲノムで、ヒトゲノムの8%(約1割)はウィルス由来だ。子孫を残すのに必須の遺伝子まであり、何のことはない、新型コロナと同じRNAウイルス由来遺伝子のお蔭で人類の継続性が保障されている。また、ヒト細胞内のミトコンドリアは細菌由来遺伝子だ。ミトコンドリア無しではエネルギー(ATP)を得られず、私たちは一瞬たりとも生存できない。そうです。人類は太古の昔から「ウイズウイルス」「ウィズバクテリア」なのだ。

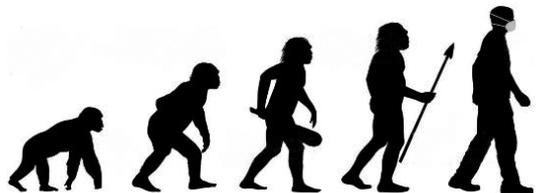
新型コロナ感染者は今年に入って、一億人

77 NEWS

『岡田再発見 改訂版』を刊行
地区の歴史をまとめた冊子
平成29年11月初版発行。
売り切れでしたが、
入手可能となりました。
1冊 500円
注文は岡田公民館へ
TEL:46-2313/FAX:45-1001

を突破し、死者は二百万人を超えた。変異ウィルス株の拡散も大きな懸念だ。収束の気配は見えない。アフターコロナのつもりだったのだろうか? 『人類がコロナを制圧した』と、誰かが豪語したが、東京五輪開催の関係者の苦労は想像を絶するものだろう。

コロナに掻き回された不思議な一年だった。そして、また春が巡って来た。「ウイズコロナ」は継続するだろうか、新年度からは、三枝編集長の新体制へとバトンタッチします。「館報おおかだ」へのご協力を引き続きお願いします。
(館報おおかだ編集長 川上 由行)



岡田ほんとのニュース

私の仕事

● 松岡 ●

私は松岡に生を受け高校まで地元で学びました。大

学卒業後、高校教師として信州に戻りましたが、36歳の時再び松岡に根を降ろすべく生家に帰りました。私の専門は書道なので、教員の傍ら日展などの展覧会に出品もしていますが、学校では授業の他に書道部を担当。その活動の一端をお伝えしたいと思います。



桑村から2時間かけて通学してくる部員がいます。「地域の方に笑顔と元気を届ける」をモットーに年間60回程のパフォーマンスを披露してきました。その根底には基礎となる古典臨書や作品制作など地道な鍛錬を欠かさない事があります。この両輪を大切に、活動を進めています。

部員が「沢山パフォーマンスをしたいです。それは依頼される内容が全て違い、対応する事がかなり難しいけど、とても勉強になるから。」と話すように、数多くの経験のお陰で、昨年度全国パフォーマンス甲子園で優勝する事ができました。

そして今年、連覇を目指して始動して8ヶ月。大会は中止となり、映像の募集に変わりました。その時生徒達の決断は、一年かけて完成させた作品を捨てて、「コロナで苦しんでいる方々への希望のメッセージを作るんだ。」と全く新しいパフォーマンスを2週間で作らあげた事でした。その行動力と決断力には私も驚きましたが、誇らしくもありました。

学校の枠を越え、企業や地域の方々や直接かわる中で、応援して下さる方々への感謝の気持ちが生徒を成長させている事を実感しています。

良い仕事に就いて長く過ごせたい事を感謝する日々です。
(大澤 一仁)

岡田小学校・女鳥羽中学校 コロナ禍で変更された今年度行事等

	岡田小学校 (山本教頭先生)		女鳥羽中学校 (重盛教頭先生)	
	年度当初予定	変更後	年度当初予定	変更後
4月	入学式	入学式は延期 全校校	入学式 3年 京都奈良修学旅行 (2泊3日)	入学式は当該生徒のみ その他は全校校
5月	5年 キャンプ	5月21日まで休校 5月22日から分散登校 給食無し 午前中 休校中、各クラス保護者への課題 配布 (木曜午後～金曜朝)	鑑賞音楽会	5月21日まで休校 5月22日から分散登校 鑑賞音楽会は中止 各クラス生徒間隔最大に 給食は向き合わない
6月	音楽会	全校登校再開 音楽会 中止		
7月			1年 乗鞍登山 (1泊)	部活動 4月～11月までの大会やコンクールはほとんど中止された 運動部によっては市中大会のみ実施 広島原爆式典も中止
8月	県小バンドフェスティバル OMFパレード参加	県小バンドフェスティバル 中止 OMFパレード参加 中止		
9月	6年 修学旅行(東京方面)	4年 社会見学 クリーンセンター等 5月予定の5年生キャンプ→ 校内でカレー&飯盒炊爨 &キャンプファイヤー		
10月	3年 社会見学 (市場等) 芥子坊主遠足 (縦割り・調理)	6年 修学旅行 (北信方面へ変更) 3年 社会見学先行変更 芥子坊主遠足 (縦割り・調理は無し)	第70回開校記念祭 文化祭 2年 岐阜高山旅行 (1泊) バザー	記念祭は規模縮小、ライブ配信等 1年 日帰り長野学習旅行 2年 日帰り東信学習旅行 3年 浅間温泉学習 (1泊) バザーは中止、PTA作業へ
11月	マラソン大会 スケート教室 (岡谷)	マラソン大会 実施 スケート教室 実施		部活 各新人大大会実施
12月			保護者懇談会	保護者懇談 実施
1月	スキー教室	スキー教室 中止	始業式	TVシステムで各教室へ配信
2月	そり教室	そり教室 中止		
3月	卒業証書授与式	卒業式 当該学年と親のみ	卒業証書授与式	卒業式 当該学年生徒と親 在校生は各教室でリモート参加
学校 所感	教育活動を止めない、学校行事は実施できる方法を工夫して行うという基本姿勢のもと、様々な場面でひと工夫の学校生活でした。改めて子供たちが学校に通うことの意味を問い直しました。保護者・地域の皆様のご協力のもとに成り立った一年を感謝いたします。(武田校長先生談)		行事だけではなく、学校生活そのものが大きく変わったと感じている。マスク・手指の消毒・3密の回避の徹底。全校生徒が集まる集会はできない為教室のテレビにてリモートの全校集会を実施するなど、創意工夫の一年であった。(重盛教頭先生談)	
取材 所感	分散登校時期の出来事。6年生のクラスにて子供たちが放課後何やら黒板に書き始めた。何かと見ると、別地域の会えない半分のクラスメイトに寄せる連絡事項・お便りであった。子供たちの適応力の高さと、成長には驚かされる。そんな嬉しいお話もうかがえた。(三枝)		年間行事予定表を見ると、行事のない日が無いくらいの予定の多さに驚かされた。しかも中止になった行事が少ない印象を受けた。規模を縮小してでも出来るだけ実施する方向で工夫を凝らすという先生方の努力の賜物であると感じた。(太田)	

朝から晩まで、コロナコロナと報道され、少
しうんざりな日々が続いています。
当たり前が当たり前でなくなつて、なぜか窮
屈が息がしづらい(マスクのせい?)この感じ
はちよつと憂うつになりませんか?
でも、マスクの着用は「ウイズコロナ」の日
常生活では必須アイテムになりました。:目と
眉しか見えないので、ついつい化粧しなくても
ごまかせると思い、緊張感が緩んでしまい、怠
惰な生活を送ってしまいます。(これこそが老
化の始まりかも?)
さて、私は岡田に住みはじめて35年。「住め
ば都」とよく言いますが、岡田は大好きな土
地です。都会ではなく、さほど田舎でもなく、
自然が豊かで、なんといつても住民があたたか
い!それにしても何年も生活しているのに、ま
だまだ知らない魅力やスポットが隠れていて、
知らないことがたくさんあります。これから季
節が変わっていく中で、ひとつひとつ発見でき
たいいなと思います。
我家にも畑があります。義父母は野菜作り
のプロでしたが、私は素人です。形のいい物ば
かりではありませんが、家でとれた野菜を食卓
に載せ具だくさんのお味噌汁や煮物を味わうな
ど、小さな幸せを感じられる
ことに感謝しながら、生活で
きたらうれいすね。
最後に、コロナ禍で大変な
時だからこそ、今の自分を大
切にしたいと思えます。まず
は、外に出て、大きく息を吸
うと気持ちいいかも:コロナ
に負けないぞ!



生活雑記
「コロナ禍で思うこと」
岡田町 二木 ゆかり